

紛争と平和

名前 _____
_____ 月 _____ 日

現代社会 憲法 政治 経済 国際社会 これから

今日の問い
世界の紛争をなくし、平和を守るために、どんな取り組みがあるのだろう。
下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 紛争と難民 紛争・難民

1 国内外で起こる武力をともなう争い。
世界では、民族や宗教のちがいが、領土や資源をめぐる対立などから、国の内外で 1 紛争 が起こっている。戦火や迫害をのがれるため、住み慣れた土地を追われる人も多く、その中でも、国境をこえて他の国に逃げた人々を 2 難民 という。故郷を追われた人は世界で1億人をこえるといわれる。

2 迫害や紛争をのがれて国外に避難した人々。
難民の保護と支援を行う国連の機関。

3 難民の保護と支援を行っているのが、1950年に国連が設けた 3 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)である。1951年の難民条約は、難民を迫害のおそれのある国に送り返してはならないと定めた。このほか、 4 NGO (非政府組織)の「国境なき医師団」なども、医療や食料の支援を行っている。紛争を防ぎ、避難した人々を受け入れる国際的な協力が求められている。日本も、難民の受け入れや資金の面で支援を続けている。

2 軍縮と世界の平和 軍縮・PKO

5 国どうしが軍備を減らしていくこと。
平和を守るためには、国どうしが軍備を減らす 5 軍縮 が欠かせない。核兵器については、持たない国がふえないようにする 6 核拡散防止条約 (NPT)が結ばれ、2017年には核兵器の開発・保有・使用などを禁じる 7 核兵器禁止条約 が採択された(2021年発効、日本は参加していない)。日本は唯一の戦争被爆国として、核兵器を「もたず・つくらず・もちこませず」の 8 非核三原則 をかかげている。

8 核兵器をもたず・つくらず・もちこませず。
紛争地域で停戦の監視などを行う活動。

9 紛争が起きた地域では、国連が 9 国連平和維持活動 (PKO)を行い、停戦の監視や選挙の支援などにあたる。日本は1992年にPKO協力法を定め、カンボジアなどへ自衛隊を派遣してきた。被爆の体験をもつ日本には、平和を訴え続ける役割が期待されている。

条約	内容
<u>6 核拡散防止条約</u>	核兵器を持つ国をふやさない
<u>7 核兵器禁止条約</u>	核兵器の開発・保有・使用などを禁じる

できた / 9

